

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月13日 東

上場会社名 ランサーズ株式会社 上場取引所  
 コード番号 4484 URL https://www.lancers.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 秋好 陽介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小沼 志緒 (TEL) 03(5774)6086  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家、証券アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,868	11.3	36	—	48	—	37	—
2020年3月期	3,474	37.7	△307	—	△328	—	△353	—

(注) 包括利益 2021年3月期 37百万円( —%) 2020年3月期 △353百万円( —%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	2.38	2.31	2.1	1.5	0.9
2020年3月期	△27.91	—	△26.1	△12.0	△8.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

- (注) 1. 2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。  
 2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,433	1,837	53.5	117.40
2020年3月期	3,145	1,714	54.5	110.58

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,837百万円 2020年3月期 1,714百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	241	△279	85	2,099
2020年3月期	△353	△225	902	2,052

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	流通総額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,691	15.0	3,902	0.9	△370	—	△363	—	△452	—	△28.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	15,650,000株	2020年3月期	15,505,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期	37株	2020年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	15,562,852株	2020年3月期	12,657,128株

(注) 2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,216	8.9	△53	—	6	—	△7	—
2020年3月期	2,034	1.7	△347	—	△323	—	△336	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△0.51	—
2020年3月期	△26.56	—

(注) 1. 2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,204	1,809	56.5	115.61
2020年3月期	2,884	1,731	60.0	111.68

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,809百万円 2020年3月期 1,731百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響により、極めて厳しい状況になりました。全国的に感染者数は増加傾向にあるため、国内外の経済収縮リスク等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく変容しております。2021年2月に当社グループが実施した「フリーランス実態調査2021年版」（注1）によると、広義のフリーランス（注2）人口は前年対比57%増の1,670万人にのぼり、経済規模は28兆円となりました。広義のフリーランスが増加した背景として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、在宅勤務が推奨され通勤時間削減による空いた時間を活用する人が増加したことや、働き方を見直し会社に頼らず生きていくことを目的として独立をした人が増加したためと推察しております。今後も在宅勤務推奨を続ける企業は多く、今後よりこのような新しい働き方が日本に浸透していくと考えられます。このような背景によって、クライアント・フリーランスともに当社グループサービスの新規登録数は増加しております。2021年4月時点で、累計登録クライアント数は46万社であり、累計登録ランサー数は129万人にのびます。

当社グループはこのような環境において「個のエンパワーメント」をミッション、「テクノロジーで誰もが自分らしく働ける社会をつくる」をビジョンとして掲げ、企業とフリーランスをマッチングさせる仕事のプラットフォームの運営により、双方の新しい働き方を支援いたします。オンライン上で企業と個人が直接マッチングするサービスである「Lancers」、「Lancers」での直接依頼が困難なクライアントや大量・複雑な案件を一括で依頼（発注）したいクライアントに対して当社グループが直接依頼（発注）を引き受ける法人向けのサービスである「Lancers Outsourcing」、クライアントのエンジニア、デザイナー、マーケター等の求人ニーズに対応して、フリーランス人材をエージェントを介して紹介するサービスである「Lancers Agent」及び、クライアントによるBPOニーズもしくは定額での業務委託ニーズに対応して当社グループが厳選したフリーランスチームに一括で依頼（発注）していただけるサービスである「Lancers Assistant」や月額定額制でバナー制作やデザイン制作などをフリーランスに依頼（発注）できるサービスである「Lancers Creative」等を運営し、堅調に事業を拡大してまいりました。また2020年10月には、教えた人と学びたい人を繋ぐオンラインメンターサービス「MENTA」を運営しているイリテック株式会社（現MENTA株式会社）をグループ会社化いたしました。

当連結会計年度においては、在宅勤務等の新しい働き方の定着やDXニーズの高まりによりマーケットプレイス事業の主要サービスである「Lancers」は成長が加速している一方で、クライアントの経済活動縮小により、マネージドサービス事業の主要サービスである「Lancers Outsourcing」やテックエージェント事業の主要サービスである「Lancers Agent」においては成長が減退いたしました。このように新型コロナウイルス感染症によるプラスとマイナスの影響が混在した1年でありましたが、そのような中、投資の差配、生産性向上等、全社コストの見直しの取り組みを継続したことにより、当連結会計年度において黒字化いたしました。

以上の取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は3,868,982千円（前年同期比11.3%増）となり、営業利益は36,722千円（前年同期は営業損失307,284千円）、経常利益は48,545千円（前年同期は経常損失328,706千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は37,109千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失353,269千円）となりました。

（注1）「フリーランス実態調査2021年版」は、当社グループが株式会社マクロミルに依頼した、過去12か月に仕事の対価として報酬を得た全国の20歳以上の成人男女を対象にして2021年1月から2月にかけて実施した調査であり、3,095人から回答を得てまとめたものです。

（注2）「広義のフリーランス」とは、特定の会社に属せずに報酬を得ている「専業フリーランス」に加え、専業フリーランスではないが直近1年間にフリーランスとしての報酬を得たことがある人（副業をしている一般の会社員等）を含んだグループを示します。「フリーランス実態調査2021年版」ではフリーランスを①副業系すきまワーカー、②副業系パラレルワーカー、③自由業系フリーワーカー、④自営業系独立オーナーの4つに分類しており、広義のフリーランスにはこの4タイプのフリーランスが含まれます。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して287,948千円増加し、3,433,341千円となりました。これは主に、固定資産においてのれんが161,579千円、ソフトウェアが49,043千円、ソフトウェア仮勘定が33,239千円それぞれ増加したこと、流動資産において預け金を含むその他が48,903千円増加したこと等によるものです。

### (負債)

当連結会計年度末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して165,280千円増加し、1,596,067千円となりました。これは主に、流動負債において預り金が229,663千円増加したこと、未払金が67,557千円減少したこと等によるものです。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して122,667千円増加し、1,837,273千円となりました。これは主に、第三者割当増資の払込みや新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が42,851千円それぞれ増加したこと、親会社株主に帰属する当期純利益を37,109千円計上したこと等によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して47,147千円増加し、2,099,531千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、241,016千円の収入（前年同期は353,399千円の支出）となりました。これは主に、未払金の減少額78,713千円があったものの、預り金の増加額195,445千円、税金等調整前当期純利益の計上48,545千円、未払消費税等の増加額45,456千円があったこと等によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、279,635千円の支出（前年同期は225,051千円の支出）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が166,115千円、無形固定資産の取得による支出が90,955千円あったこと、有価証券の取得による支出が10,951千円あったこと等によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、85,665千円の収入（前年同期は902,018千円の収入）となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入が47,708千円、株式の発行による収入が37,994千円あったこと等によるものです。

#### (4) 今後の見通し

次期の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の日本を含む世界各国における感染拡大の継続により、経済活動への長期的な影響が懸念されております。

このような環境の下、当社グループでは引き続き当社グループ経由で取引される金額の総額である流通総額とクライアント及びランサーへ提供される付加価値を示す売上総利益の最大化を重視した経営を行ってまいります。「テクノロジーで誰もが自分らしく働ける社会をつくる」というビジョンを実現すべく、サービスラインナップの拡充や機能追加によって、クライアント利用社数及びクライアント利用額を増加させることにより、流通総額を持続的に成長させてまいります。とりわけ流通総額が本第四半期（単体）において33.1%増加しているマーケットプレイス事業については約4億円の積極投資をする予定であり、カテゴリーの拡大やマッチングの仕組みの多様化により新規・既存の両クライアントの利用を促す施策を展開してまいります。

以上により、次期連結会計年度（2022年3月期）の通期業績につきましては、流通総額10,691百万円（前年同期比15.0%増）、売上高3,902百万円（前年同期比0.9%増）、売上総利益2,078百万円（前年同期比7.9%増）、営業損失370百万円（前年同期は営業利益36百万円）、経常損失363百万円（前年同期は経常利益48百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失452百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益37百万円）を見込んでおります。また注力事業のマーケットプレイス事業につきましては、流通総額7,143百万円（前年同期比29.5%増）、売上高1,328百万円（前年同期比29.9%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,032,908	2,037,903
売掛金	450,844	436,894
有価証券	—	10,951
仕掛品	2,180	9,541
前払費用	39,244	36,431
未収入金	221,961	241,012
その他	41,485	90,388
貸倒引当金	△11,323	△17,528
流動資産合計	2,777,301	2,845,597
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,704	34,276
減価償却累計額	△22,322	△24,127
建物(純額)	10,381	10,149
工具、器具及び備品	56,587	57,092
減価償却累計額	△47,461	△53,226
工具、器具及び備品(純額)	9,126	3,866
有形固定資産合計	19,507	14,015
無形固定資産		
ソフトウェア	4,000	53,043
ソフトウェア仮勘定	11,090	44,329
のれん	265,656	427,236
無形固定資産合計	280,746	524,609
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,637	39,074
繰延税金資産	3,190	10,044
その他	2,150	1,515
貸倒引当金	△2,140	△1,515
投資その他の資産合計	67,837	49,118
固定資産合計	368,091	587,743
資産合計	3,145,392	3,433,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	203,201	205,321
未払金	414,981	347,423
未払費用	90,941	81,031
未払法人税等	23,530	11,913
未払消費税等	21,167	47,315
預り金	570,935	800,599
賞与引当金	45,010	51,735
その他	55,018	46,727
流動負債合計	1,424,787	1,592,067
固定負債		
長期末払金	6,000	4,000
固定負債合計	6,000	4,000
負債合計	1,430,787	1,596,067
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,675,405	97,851
資本剰余金	1,666,405	1,719,431
利益剰余金	△1,626,676	20,662
自己株式	—	△36
株主資本合計	1,715,133	1,837,909
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△528	△635
その他の包括利益累計額合計	△528	△635
純資産合計	1,714,605	1,837,273
負債純資産合計	3,145,392	3,433,341



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,474,652	3,868,982
売上原価	1,679,929	1,943,136
売上総利益	1,794,723	1,925,846
販売費及び一般管理費	2,102,008	1,889,124
営業利益又は営業損失(△)	△307,284	36,722
営業外収益		
営業債務消滅益	5,474	5,364
助成金収入	1,710	5,788
その他	1,035	1,220
営業外収益合計	8,219	12,372
営業外費用		
支払利息	5,583	341
株式交付費	10,133	—
為替差損	58	102
株式公開費用	13,521	—
その他	343	104
営業外費用合計	29,641	549
経常利益又は経常損失(△)	△328,706	48,545
特別損失		
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	10,000	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△338,706	48,545
法人税、住民税及び事業税	10,681	17,789
法人税等調整額	3,880	△6,353
法人税等合計	14,562	11,436
当期純利益又は当期純損失(△)	△353,269	37,109
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△353,269	37,109

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△353,269	37,109
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△16	△107
その他の包括利益合計	△16	△107
包括利益	△353,286	37,002
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△353,286	37,002

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,138,125	1,129,125	△1,273,407	—	993,843
当期変動額					
新株の発行	537,280	537,280			1,074,560
新株の発行(新株予約権の行使)					—
減資					—
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△353,269		△353,269
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	537,280	537,280	△353,269	—	721,290
当期末残高	1,675,405	1,666,405	△1,626,676	—	1,715,133

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△511	△511	993,331
当期変動額			
新株の発行			1,074,560
新株の発行(新株予約権の行使)			—
減資			—
欠損填補			—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△353,269
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16	△16	△16
当期変動額合計	△16	△16	721,273
当期末残高	△528	△528	1,714,605

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,675,405	1,666,405	△1,626,676	—	1,715,133
当期変動額					
新株の発行	18,997	18,997			37,994
新株の発行(新株予約権の行使)	23,854	23,854			47,708
減資	△1,620,405	1,620,405			—
欠損填補		△1,610,229	1,610,229		—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			37,109		37,109
自己株式の取得				△36	△36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△1,577,554	53,026	1,647,339	△36	122,775
当期末残高	97,851	1,719,431	20,662	△36	1,837,909

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△528	△528	1,714,605
当期変動額			
新株の発行			37,994
新株の発行(新株予約権の行使)			47,708
減資			—
欠損填補			—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			37,109
自己株式の取得			△36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△107	△107	△107
当期変動額合計	△107	△107	122,667
当期末残高	△635	△635	1,837,273

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△338,706	48,545
減価償却費	12,496	15,228
のれん償却額	24,150	39,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,364	5,951
受取利息及び受取配当金	△13	△19
支払利息	5,583	341
投資有価証券評価損益(△は益)	10,000	—
株式交付費	10,133	—
株式公開費用	13,521	—
固定資産除却損	—	34
売上債権の増減額(△は増加)	△154,017	17,314
前払費用の増減額(△は増加)	1,161	2,812
未収入金の増減額(△は増加)	△27,657	△13,573
買掛金の増減額(△は減少)	97,745	2,120
未払金の増減額(△は減少)	116,565	△78,713
未払費用の増減額(△は減少)	△8,404	△9,911
未払消費税等の増減額(△は減少)	△46,852	45,456
預り金の増減額(△は減少)	13,021	195,445
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,600	6,724
その他の資産の増減額(△は増加)	2,579	△8,070
その他の負債の増減額(△は減少)	△681	△19,906
小計	△293,608	248,789
利息及び配当金の受取額	13	10
利息の支払額	△5,552	△341
株式公開費用による支出	△13,521	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△40,729	△7,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	△353,399	241,016
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,257	△3,783
無形固定資産の取得による支出	△7,399	△90,955
有価証券の取得による支出	—	△10,951
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△133,583	△166,115
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△88,000	△8,000
敷金及び保証金の差入による支出	△114	—
敷金及び保証金の回収による収入	703	161
その他	7,600	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,051	△279,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△150,000	—
長期借入金の返済による支出	△12,408	—
株式の発行による収入	1,064,426	37,994
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	47,708
自己株式の取得による支出	—	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	902,018	85,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	323,610	47,147
現金及び現金同等物の期首残高	1,728,774	2,052,384
現金及び現金同等物の期末残高	2,052,384	2,099,531

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	110.58円	117.40円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△27.91円	2.38円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	2.31円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。
2. 当社は、2019年8月27日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失		
親会社に帰属する当期純利益又は 親会社に帰属する当期純損失(△)(千円)	△353,269	37,109
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社に帰属する当期純損失(△)(千円)	△353,269	37,109
普通株式の期中平均株式数(株)	12,657,128	15,562,852
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	494,800
(うち新株予約権(株))	—	(494,800)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権9種類 (株式の数 1,400,000株)	—

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,714,605	1,837,273
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,714,605	1,837,273
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	15,505,100	15,650,000

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。